

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	脳室内膿瘍に対する軟性神経内視鏡的洗浄術の有用性
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2007年から2020年までに新潟大学脳神経外科及びその関連施設に於いて経頭蓋経由で神経内視鏡を用いて洗浄術を行った患者 過去の研究課題名：なし 研究責任者 藤井 幸彦
③ 概要	頭蓋内細菌感染症のうち、脳室内膿瘍は治療抵抗性であり致命的な経過をたどることも少なくありません。脳神経外科手術において、神経内視鏡手技は日々進歩しております。最も難治性な頭蓋内感染症の一つと言われている脳室内膿瘍に対する軟性神経内視鏡的洗浄の有用性を明らかにします。
④申請番号	2020-0147
④ 研究の目的・意義	難治性な頭蓋内感染症の一つである脳室内膿瘍に対する軟性神経内視鏡的洗浄の有用性を明らかにします。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2025年3月末まで
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	電子カルテに保存されている病歴及び画像を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴(年齢、性別、脳室内膿瘍の原因、起炎菌、脳室内膿瘍と診断されてから洗浄術が施行されるまでの時間、術中所見、髄液細胞数が正常化するまでの期間、手術手技、手術時間)及び画像(術前CTあるいはMRIで診断、術後CTあるいはMRI画像評価)
⑨利用する者の範囲	新潟大学 脳研究所 脳神経外科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 脳研究所 脳神経外科 教授 藤井 幸彦
⑪お問い合わせ先	脳神経外科医局 025-227-0653 shindainougeka@bri.niigata-u.ac.jp